武生第二中学校

「国語」・「数学」・「英語」の力と学習の状況

～『R8 全国学力・学習状況調査（2026.4.22,23 中学3年生を対象に実施）』結果から～

◆Ⅰ 「国語」・「数学」・「英語」の力について

◎…良いところ　▲…伸ばしたいところ　☆…伸ばすための手立て

国語の結果から

◎情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、活用することができています。

◎表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができています。

◎語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができています。

▲「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることに課題があります。

☆話し合い活動において、それぞれの立場で出された意見を付箋やタブレットで書き出し、共通点や相違点を可視化した上で考えをまとめていく活動を取り入れます。

▲「書くこと」において、段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することに課題があります。

☆段落の役割やつながりに着目したり、根拠を示しながら段落の順番を入れ替えたりするなど、段落どうしの関係を意識する活動を取り入れます。また、接続詞や指示語を適切に用いて文章を書き、互いに文章を読み合うなど、読み手と書き手の両方の立場を意識した活動を取り入れます。

数学の結果から

◎「数と式」の領域で、同類項の意味を理解できています。

◎「データの活用」の領域で、箱ひげ図と四分位数の対応について理解できています。

◎「関数」の領域で、反比例の関係を表す表の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができています。

▲「数と式」の領域で、統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

☆授業で、式や数量が何を表しているかを言葉で説明する活動を取り入れることで、事象と数式を関連付けて捉え、問題解決の方法を数学的に説明する力を育てます。

▲「関数」の領域で、数学的に表現されたことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。

☆関数の事象を理解し、説明するまでの流れを再確認するとともに、日頃から関数のもつ数学的な意味を考える活動を取り入れます。また、表・式・グラフのつながりを意識した授業を行い、数学用語を用いて説明をする場面を意図的に取り入れます。

▲「図形」の領域で、筋道を立てて、証明することに課題があります。

☆証明の型を身につける指導を行います。また、問題文から根拠となる仮定を捉えたり、図形から読み取れる条件を整理したりする活動を通して、筋道を立てて証明する力を育てます。

英語の結果から
◎「聞くこと」の領域において、日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができています。
◎「話すこと」の領域において、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができています。
◎「書くこと」の領域において、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができています。
▲「読むこと」の領域において、社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことに課題が見られます。
☆社会的な話題の文章の要点を捉え、自分の考えを理由と共に表現する力を育てるため、「要点→考え→理由」の順に整理して書く活動を行います。
▲「話すこと」の領域において、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用することに課題があります。
☆授業において、目的や場面、相手を意識した会話活動を継続的に設定し、既習の語彙や表現、文法を活用して伝える活動を行います。
▲「書くこと」の領域において、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用することに課題があります。
☆授業において、目的や相手意識を明確にした言語活動を充実させ、学習した語彙や表現、文法を活用して短い文章を書く機会を増やしていきます。

◆Ⅱ 学習や生活の状況について

生徒質問紙（アンケート）の結果から ＊全体的な傾向として以下のことが挙げられます。

1 肯定的な回答が多い項目

- 毎日同じくらいの時刻に起床、就寝をし、朝食を食べている。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている。
- 学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

2 今後行うとよいと思われること

- パソコン・スマートフォン等でのゲーム、SNS、動画視聴の時間を見直し、家庭学習や読書に取り組む時間を確保する。

＊「個人票」（配付済み）には、各教科の結果（個人の正答数・全国の平均正答数）と各問題の全国の正答率などが記載されています。お子様が自身の課題や弱点を把握し、学力向上を目指して努力できるよう、ご支援をお願いします。

◆Ⅲ 今後の対策について

1 学校での取組

○ タブレット端末などの ICT 機器を効果的に活用した分かりやすい授業を行い、学習の定着を図ります。
○ 生徒が目標をもって学習に取り組めるよう、単元全体を見通した課題を提示しながら授業を展開します。
○ 学習内容を活用して、「要点を捉える・考えを持つ・根拠を示して説明する」活動を行います。
○ 生徒が安心して学校生活を送れるよう、福井県版ポジティブ教育を推進します。

２ ご家庭にお願いしたいこと

○ ゲーム、SNS、動画視聴等の時間について、ご家庭でルールを確認してください。

○ 家庭で学習する時間を確保し、予習・復習、学習課題等に計画的に取り組む習慣を身に付けられるよう、支援をお願いします。

○ ご家庭で読書や新聞、ニュース等に触れる時間を設けてください。